

多くの人とのかかわりの中で、人生における重要な一節(Passage)を描いていく。

2019 VOL.32

PASSAGES

経営学部(1部)初年次教育科目……01 アカデミック・リテラシー

アカデミック・リテラシーI
アカデミック・リテラシーII

経営学部から……03 公務員

経営学部 コース制の紹介……05

情報・マネジメントコース
会計・ファイナンスコース

活躍する経営学部生……07

ミスおたる 山口紗希さん

トビタテ！留学JAPAN 伊藤 昇さん

Asia Beatbox Championship 2018

Tag部門優勝！田村 風雅さん

CSP キャリア・サポート・プログラム……09

キャリアデザイン講座(2年次開講)
学生企画イベント2018inキャリアデザイン講座

海外に学ぶ、海外で学ぶ 海外総合実習……11 [カナダ ブロック大学]

実践する学び[産学連携事業] 社長に弟子入りプロジェクト……13

豊平シンクタンク [教員の研究紹介]……14

[研究課題] サービス業におけるイノベーションの創出が組織業績に与える影響の理論的・実証的研究
関谷 浩行 准教授

Information……15

Passagesには、経営学部生の様々な学習経験を支え、学生、教員さらには産業界との相互対話を促す窓という意味がこめられています。



北海学園大学経営学部
<http://ba.hgu.jp>



アカデミック・リテラシー

アカデミック・リテラシーI

目的

1 大学での学びを進める上で必要な基礎的な学修技能を修得すること

2 卒業までの4年間の大学生活のイメージを明確にすること

大学を知る

▶大学とは何か?

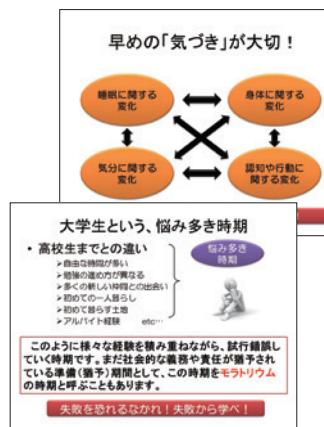
入学から卒業までの4年間の主要なイベントを把握します。また、高校と大学での学び方の違いについて考えます。



精神面の健康を知る

▶メンタルヘルス

大学生活における、精神面の健康について考えます。また、本学の「こころの相談」について説明します。



4月

学び方を知る

▶ノートテイキングとレジュメの書き方

講義を受けるにあたっての効果的なノートの取り方を紹介します。また、発表の際に利用するレジュメの書き方を練習します。

レジュメとは（仏résumé、英resume）

要旨・要約・概要という意味（または履歴書）報告内容をわかりやすくするために配布資料

コミュニケーションツール

口頭での発表を前提とする

文章で詳しく説明せず簡潔にまとめる

話し手および聴き手のメモとなる

人に見せるものであるが発表原稿ではない

研究倫理について！

*※大学学生にとっての研究とは？

大学は、高等教育機関であるとともに研究機関であり、研究という新たな発見、知的の探求の運びを行なう。その研究成果と到達度をもとに広く教育を行う組織です。

大学に属する学生は、その大学の研究成果をもとにした教育を様々な授業で受けられます。

高校までの生徒とは違い、大学では、自ら調査をしたり、興味あるテーマの研究を手掛けたり、さらにその結果をゼミ論文や卒業論文としてまとめ成果を発表するなど、学生も大学の研究活動の一端を担う存在となるのです。

アカデミック・リテラシーII

目的

1 経営学部の専門分野（経営・マーケット・企業・会計・情報・心理・英語）の理解を深め、2年時でのコース選択のための情報を取得すること

2 自己のキャリア形成プロセスを理解し、その理解の下での学習計画策定を行うこと

9月

自分の未来を知る

▶未来をイメージした大学での学び

企業で働く方の実体験を聴講します。「人生100年時代の社会人基礎力」を身につけるために、大学での学びをどのように進めればよいかについて考えます。

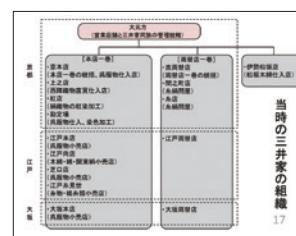


10月

経営学部の学びを知る

▶専門分野ミニ講義

2年次から開講される専門教育科目について、各担当者がその概要を説明します。コース選択や時間割作成の参考にしてください。また、経営学に関する様々な研究分野の魅力を知るきっかけにもなるでしょう。



江戸時代の経済地理・貨幣制度

三都経済

・江戸...消費地(人口100万人)

・大阪...集散地(全国の年貢米、特産品を換金する市場)

・京都...技術集積(価値のある伝統産業、精英が集合)

貨幣制度

・江戸...金本位制 - 金貨が流通

・上方...銀本位制 - 銀貨が流通

18

経営学部は、経営分野の専門知識とそれを活かす実践力をあわせもち、組織や社会の発展に貢献しうるマネジメント能力に優れた人材を育成することを実現するために、コース制を導入したカリキュラムを設置しています。コースは2年進級時に選択し、より専門性の高い講義を受講することになります。

このような大学での学びに対応できるよう、大学で必要な学習技術の獲得とともに、卒業後の進路を見据えた大学での学修計画の策定に関する理解を深める「アカデミック・リテラシーI・II」を、1年生で履修します。

5月

6月

7月

キャリアを知る

▶グループワーク

グループワークゲームを通して、グループでの議論や意思決定のプロセスを経験します。このワークが、友達作りのきっかけになる人もいるようです。



▶クリティカルシンキング

クリティカル・シンキング(批判的思考)のトレーニングを通して、自己の判断を客観的に検証する力を身につけます。

▶ロジカルシンキング

「質問をする」「批判を行う」「異論を立てる」などのトレーニングを通して、自分の考えをはっきり伝え、他人の考えをしっかりと受け取る力を身につけます。

▶レポートの書き方

指定されたテーマに基づいたレポート作成の実習を通して、レポート作成のスキルを養います。盗作・剽窃の禁止と、正しい文献の引用方法を学びます。

▶プレゼンテーションの仕方

グループワークによるプレゼンテーションの実習を通して、プレゼンテーションの基本的スキルを身につけます。

批判的思考(critical thinking)とは

- ・自分の主観にとらわれることなく、ものごとを客観的に捉え、多角的・多面的に検討し、適切な規準に基づいて判断する思考。
- ・自分の推論過程を意識的に吟味する反省的な思考。
- ・自分の意見と一致しない場合であっても、その気持ちを介入させることなく推論する思考。

#つまり、自分の判断を客観的に検証(自己批判)することであり、他人を批判することではないことに注意!



11月

12月

1月

▶キャリア・サポート・プログラム概説

経営学部の特色の一つであるキャリア・サポート・プログラム(CSP)について解説をします。



経営学部から公務員

経営学部の卒業生の就職は一般企業が多いものの、
公務員への就職もしっかりとした実績を残しています。
本特集では、2015年度から2017年度卒業生の公務員就職者データ、
就職のためのタイムスケジュール、そして、公務員として働いている卒業生、
公務員試験合格者のインタビューを紹介します。



▶2015年度から2017年度卒業生の公務員就職者データ

国家、地方両方に就職していることが分かります。また、行政職だけでなく、警察、自衛隊、消防、教員と職種も多岐にわたります。

	2015 年度	2016 年度	2017 年度
国家公務員一般職(厚生労働省)	1	1	
国家公務員一般職(国土交通省)		1	
国家公務員一般職(財務省)	3	1	
国家公務員一般職(法務省)	1	1	
国家公務員一般職(省庁問わず)	1		
国税専門官	2	1	5
国立大学法人北海道大学	1		
国立大学法人等 職員北海道区分(その他)		1	
皇宮護衛官	1		
北海道開発局 (国家公務員一般職 技術系区分)		1	
北海道職員(一般行政)	1	2	4
北海道職員(教育行政)	2		2
北海道職員(警察行政)	1	3	
北海道職員(公立小中学校事務)		1	

	2015 年度	2016 年度	2017 年度
札幌市役所 (一般事務)	3	2	4
恵庭市役所		2	
砂川市役所	1		1
室蘭市役所	1		
小樽市役所			1
新十津川町役場 (空知町村会)		1	
深川市役所			1
石狩市役所		1	1
帯広市役所	1		
滝川市役所			1
中頓別町役場 (宗谷町村会)	1		
函館市役所	1		
標茶町役場 (釧路町村会)			1

	2015 年度	2016 年度	2017 年度
平取町役場 (日高町村会)	3	2	4
幕別町役場 (十勝町村会)			2
警視庁警察官	1		1
北海道警察		1	
旭川市消防			1
函館市消防			1
自衛隊 自衛官候補生			1
自衛隊一般曹候補生	1	1	
陸上自衛隊		1	
北海道教員			1
臨時教員 (高等学校)		1	
臨時教員(中学校)	1		
未公表 ※学生からの 申請によるもの			1

▶公務員スケジュール

以下の図は公務員になるための大まかなスケジュールです。2年生の10月から始まり、3年生で様々なガイダンスに参加します。さらに、講座等を受講して試験合格のための学力をつける人が多いです。



※緑はガイダンス、オレンジは進路選択・
試験関係、青は公務員講座・勉強会
を示しています。

●公務員講座は別途申込が必要です
(有料)。詳しくはキャリア支援セン
ターへお問い合わせください。

▶公務員試験合格者インタビュー



公務員を目指すきっかけ

大学2年生のときに、経営学部の専門科目の授業内で、現役の国税専門官の方にお話ししていただいたことがきっかけです。「税のスペシャリスト」として、強い使命感や責任感を持って働いていることを伺い、とても魅力を感じました。

角屋 理沙さん Risa Kadoya

試験に向けた勉強法

2年生の秋頃から学内の公務員講座を利用して学んでいました。その後、3年生の冬くらいからは毎日図書館に通い、問題集を繰り返し解くことで、時間の感覚やコツをつかんでいきました。

北海学園大学4年間で学んだこと

一緒に頑張る仲間の大切さです。特に私は周りの人に影響されやすいタイプなので、ゼミ生には本当に助けられました。私の所属する大石ゼミのゼミ生は、民間志

[合格先] 札幌国税局

I部経営情報学科4年 ●所属ゼミ：大石ゼミ
●出身高校：札幌開成 ●入学年度：2015年度

望が多く、みんな早い時期からすごく頑張っていました。そのような姿を見て刺激をもらっていました。

ゼミを中心に、大学では、答えのない問い合わせに対する考え方のプロセスや、考えること自体の大切さを学びました。高校までは、必ず正解のある問題ばかりに触れていましたが、大学では答えが無限にあったり、人によって答えが違うという状況に多く出会いました。

これからの目標

公務員という仕事は、国民から

の注目も高く、責任の大きなものだと考えています。そのため、常に学び続ける姿勢を忘れずに、成長し、国民の期待に応え、自らの責務を果たせるようになることを目標にしています。

経営学部の後輩たちにメッセージを

新しいこと、やりたいことは積極的に行なったほうがいいと思います。こんなに時間に余裕があるのも、身軽に行動できるのも今しかないです。考えている・思っているだけでなく、すぐに実行に移すことをおススメします！



公務員を目指すきっかけ

大学2年生のとき、「大学生観光まちづくりコンテスト2016青森ステージ」に学内有志チームで出場したことがきっかけです。コンテストでは、北海道新幹線開業後の

宍戸 浩起さん Kouki Shishido

青函圏の周遊型観光まちづくりのプランを発表しました。そのときのフィールドワークの経験から、行政によるまちづくりの仕事に興味を持ち、公務員試験を受験しようと思いました。

試験に向けた勉強法

学内公務員講座を3年生のときから受講し、講座のペースに合わせて勉強しました。毎日コソコソ、各科目まんべんなく勉強を進めま

[合格先] 青森市役所

II部経営学科4年 ●所属ゼミ：澤野ゼミ
●出身高校：大麻 ●入学年度：2015年度

した。年明けの直前期には、過去問や模試を解く機会を増やし、解ける問題を増やすように心掛けました。

合格の秘訣

自治体研究として、受験予定の街を歩きました。観光地だけでなく、銭湯など市民の方々が集まる場所を中心にまわりました。そして住民視点で自分の考えを深めました。エントリーシートや模擬面接は、複数の人にみてもらうことをお

すすめします。私は、大学のキャリア支援センターだけでなく、ジョブカフェなど学外にも無料で利用できる施設に通いました。

経営学部の後輩たちにメッセージを

最終合格まで長期戦になりますが、焦らず毎日少しづつ勉強を進めましょう。試験直前は不安な気持ちでいっぱいになるかもしれません、自信をもって堂々と臨んでください！



公務員を目指すきっかけ

公務員を目指すようになったきっかけは、国民の生活を守り、誰かのために働きたいと思ったことです。そのうえで、税関には、国の最前線で貿易秩序と 국민の安全を守る仕事をしていることに魅力を感じ、国の財政を考えつつ、社会悪物品の国内流入を阻止すべく税関職員を目指しました。

三瓶 剛さん Tsuyoshi Sanpei

試験に向けた勉強法

市販の参考書をベースとして、科目ごとに一つの参考書を何周も繰り返していました。講座には通っていませんでしたが、友人と一緒に勉強することで知識を増やし、モチベーションをキープしていました。私は家ではなかなか勉強できなかつたので、大学の図書館に通い詰めていました。

北海学園大学4年間で学んだこと

私は「伝え方」を学びました。大学生活では、やはり、ゼミでの生活が私を大きく成長させてくれたと思います。所属していた大石

[勤務先] 函館税関千歳税関支署

I部経営学科卒業 ●所属ゼミ：大石ゼミ
●出身高校：千歳 ●入学年度：2013年度

ゼミでは、プレゼンテーションや面接練習など、他者に自分の考えをきちんと伝える練習をする機会がとても多かったです。このおかげで、話す前に頭の中で要点を整理したうえで、何を伝えたいのかを大切にしながら話すことができるようになりました。今では、このことが後輩指導等の際にとても役立っていると実感します。

これからの目標

税関の仕事は多岐にわたり、専門性の高い仕事も多いです。まだ一種類の仕事しか経験していないので分からないことが多いですが、これからさらに様々な仕事をし

ていく中で、自分にあった仕事を見つけていこうと思っています。

経営学部の後輩たちにメッセージを

公務員を目指す方々は、まず勉強を頑張りましょう。(笑)

そこがクリアできない限り、自分の意思を伝えることも、やりたいことを叶えることも出来ません。勉強を前提としたうえで、やりたいことや自分の強みを伝える技術を習得していくたら良いのではないかと思います。北海学園の卒業生から税関職員になられる方をお待ちしております！

経営学部 コース制の紹介

ここでは2015年度よりスタートした5つのコース制の各コースについて説明します。今回は情報・マネジメントコース、会計・ファイナンスコースです。各コースの詳細はこれら。
<http://ba.hgu.jp/info/1980>



情報・マネジメントコース [1部経営情報学科設置コース]

本コースの目標：①情報を活かす組織・戦略マネジメント能力の養成
②高度情報ネットワーク社会をリードする専門能力の育成

1年次 情報リテラシー、経営統計学概論I,II、マーケティング

2年次 データ解析、情報科学、情報処理、経営情報、システム戦略、マーケティング戦略、
経営戦略I,II、流通システム、流通経営、ファイナンス、心理統計学

3~4年次 経営科学、オペレーションズ・リサーチ、情報ネットワーク、マルチメディア、プログラミングA、プログラミングB、情報システム、データベース、経営学原理、製品開発、ベンチャー経営、広告論、マーケティング・コミュニケーション、消費者行動、マーケティング・リサーチ、コーポレートファイナンス、管理会計、マネジメントコントロール

※赤字が本コースの専門科目、青字は関連科目です。卒業には上記の科目から42単位以上の取得が必要となります。



情報・マネジメントコースの履修学生に講義の印象を聞いてみました。

| 情報技術を根底から理解する科目 | 情報科学、情報処理、プログラミングA・Bなど |



受講科目 プログラミングA・B

知識の定着と確固たる理解を身近で感じる！

佐々木 玲奈

●所属ゼミ：上田ゼミ（情報処理）
●出身高校：北広島 ●入学年度：2016年度

「プログラミング」の授業では、業務で行われているようなプログラミングの基盤を学ぶことができるのももちろんのこと、それまでに学習した情報系科目的知識の定着と、より一層の理解をもたらします。

私が所属する上田ゼミで行っている「PCを用いて日常生活における問題解決を図る」という活動の中で、この授業で学習した内容を活かすこともできました。また、私個人としては、この講義を受講することで、以前付け焼き刃の知識で取得した「ITパスポート」資格の学習内容に対する理解が深まり、自分の中により確固たるものとなりました。

以上から、この講義は修学した知識をアウトプットする機会やきっかけを提供し、それらを自身のものとすることができると確信しています。

| 経営で活用される数理的手法を学ぶ科目 | 経営統計学概論I・II、経営科学、オペレーションズ・リサーチなど |



受講科目 経営統計学概論I・II

経営戦略で活きる学問

笠井 駿輝

●所属ゼミ：関ゼミ（経営統計学概論）
●出身高校：滝川 ●入学年度：2016年度

統計学とは、簡単にいって過去のデータから未来を予測するための学問です。実際にUSJでは統計学を活用・応用し、どん底の状態からV字回復を果たしました。USJでは負けそうな戦は避け、勝てる戦だけを見つけ戦うという考え方があります。つまり「どう戦うか」より「どこで戦うか」が重要という考え方です。統計学を用いて、勝負する場所を選ぶことでより勝率が高いと判断された場所で勝負した結果、新規プロジェクト成功率は、今まで30%だったのが97%の大台に乗りました。

統計学はまだまだ発展していく学問と言われています。「文系だから数学が苦手」という人が多い中、統計学を自分の強みにするとおもしろいかもしれません。

| 実践的な情報技術を実習形式で身につける科目 | 情報リテラシー、データ解析、プログラミングなど |



受講科目 データ解析

加速する情報化に柔軟に対応できる！

花輪 咲予子

●所属ゼミ：天笠ゼミ（経営情報）
●出身高校：岩見沢東 ●入学年度：2016年度

多くの情報があふれている現代社会において、意思決定をする際には集めた情報を管理し、分析することが重要です。

「データ解析」ではExcelの応用技術やAccessの操作方法を学習し、膨大な情報をコンピュータで管理・分析する技術を習得します。これら2つのソフトウェアの操作を学ぶことで、多様なデータが処理できるようになり、これからも加速する情報化に柔軟に対応できるようになります。

私はこの講義を通じてソフトの様々な機能を知り、資料を作る際に作業を効率的に進められるようになりました。情報はただ集めるだけでなく、必要に応じて引き出し、カスタマイズできなければなりません。その技術を習得できたことは、社会に出てからも大きな強みとなると思います。

| 経営で活きるシステム・情報を考える科目 | 経営情報、システム戦略など |



受講科目 経営情報

物事の本質を捉える論理的思考力

笠原 莉奈

●所属ゼミ：天笠ゼミ（経営情報）
●出身高校：札幌東 ●入学年度：2016年度

私は2、3年次に、「経営情報」を深く学ぶことができる天笠ゼミに所属しています。ゼミでは、経営問題を複数の要素から構築されるシステムとして捉える手法(システムズアプローチ)を学習しました。この手法により、経営問題における要素の相互関係を把握し、本質的、根本的な解決策を提示することが容易になります。

私が現在履修しているCSP(キャリアサポートプログラム)では、主体的な取り組みが求められます。その中で常に意識していることは、筋道を立て、論理的に思考することです。「物事の本質が何か、なぜそうなるのかをきちんと考へる」ことは、「経営情報」の学びがあってこそできるようになったのです。

システムズアプローチなどの論理的思考法を、様々な分野で応用できることが、経営情報を学ぶ良さの一つであると感じています。



会計・ファイナンスコース [1部経営情報学科設置コース]

会計・ファイナンスコースは、組織におけるマネジメントを会計的・財務的な視点から分析し、組織のイノベーションや戦略の策定に貢献する能力、あるいは会計専門職として組織の発展を支援する能力の養成を目指しています。

1年次 簿記I,II、金融システム、企業論、ビジネス・エコノミクス

2年次 財務会計I,II、商業簿記、工業簿記、株式会社会計、原価計算、ファイナンス、経営組織、経営戦略I,II、流通システム、流通経営、情報科学、情報処理、経営情報、システム戦略

3~4年次 税務会計、管理会計、コーポレート・ファイナンス、会計監査、マネジメント・コントロール、キャリア・マネジメント、コーポレート・ガバナンス、消費者行動、ベンチャー経営、企業行動、日本企業論、経営科学、オペレーションズ・リサーチ、データベース、情報システム、人間行動論、行動意思決定論

※赤字は本コースの専門科目、青字は関連科目です。卒業には上記の科目から42単位以上の取得が必要となります。



会計・ファイナンスコースの履修学生に講義的印象を聞いてみました。



受講科目 財務会計I・II(2年次科目、高木裕之教授)

企業の会計問題を学ぶ！

吉田 悠乃

●所属ゼミ：高木ゼミ ●出身高校：札幌北陵
●入学年度：2016年度

「財務会計I・II」では、どのような情報が会計を通じて企業に提供されているのか、個別企業の会計問題について学習します。講義の最初に日本経済新聞の記事を用いて進めるため、実例と照らし合わせることができ、会計の基礎知識が馴染みやすくわかりやすくなっています。

財務諸表を通じて色々な意思決定を行なっているこの経済社会の中で、企業の取引がどのように記録され財務諸表にまとめられていくのかを知ることはとても大切なことだと考えます。この講義では、財務諸表の意義から作成方法、ケース別で例題などもあるため、財務諸表がどのような状況を表しているのかがわかりやすく、個別財務諸表や連結財務諸表を作成する能力、読み取る能力を身につけることができます。



受講科目 ファイナンス(2年次科目、赤石篤紀教授)

お金に関する様々な知識

佐々木 涼花

●所属ゼミ：閑谷ゼミ ●出身高校：苫小牧総合経済
●入学年度：2016年度

「ファイナンス／コーポレートファイナンス」では、基本的な金融商品の種類や違い、貨幣の時間価値の計算方法、投資に関わる知識などについて学びます。講義ノートをもとに講義が進められ、ひとつひとつ詳しい説明や計算であれば例題や練習問題も同時に行なっています。

数字を扱うことがほとんどで、日本の企業の株式情報などを用いて、計算方法や情報の見方も知ることができます。最近では仮想通貨という言葉もよく聞くようになり、投資などに興味を持っているのであれば、このような知識があることは有利だと思います。



受講科目 簿記I・II(1年次科目、庄司樹古教授)

習ったことを実践できる!!

三谷 優権

●所属ゼミ：庄司ゼミ ●出身高校：札幌第一
●入学年度：2016年度

「簿記I・II」は、積み重ねが大事な講義です。会計の知識だけでなく、企業経営の根本的なことから学ぶことができる講義であるため、他の講義とリンクさせて考えられるようになります。

私がこの授業をおすすめしたい理由は、アクティブラーニングが組み込まれているからです。今まで習ってきたことを実践する場として、チームで協力しながら楽しく、かつ頭を使って実際の経営の仕組みを模擬体験できます。

実際に自分の頭で考えて、自分の手を動かすことにより深い理解に繋がるだけでなく、多くの気づきが得られます。



受講科目 工業簿記、原価計算(2年次科目、今村聰教授)

1年生の簿記I、IIとはまた違った簿記

添田 泰都

●所属ゼミ：今村ゼミ ●出身高校：旭川商業
●入学年度：2017年度

前期の「工業簿記」では主に、原価計算の基本的な用語や理論について学びます。原価計算とは、製品を作る際に生じる材料費や、それに関わる人件費（労務費）などを求め、製品単位ごとの原価を求めるものです。このようなものを売るうえで考えなければならない原価という考え方や求め方について学んでいきます。

1年次に学ぶ簿記I・IIとは、また別の簿記をやることになります。そのため、後期の「原価計算」では、これらの理論を応用した計算問題が多くなります。

最初は戸惑うかもしれませんのが、一つ一つ解きほぐしていくば、問題ないと思います。



大学から多様な世界へ！

経営学部生は様々な活動で活躍しています。

今回は、地域貢献（ミスおたる）、留学、音楽活動で活躍する学生を紹介します。

ミスおたる

山口 紗希さん（経営学科4年生）

出身高校：小樽潮陵

所属ゼミ：大平ゼミ

入学年度：2015年度

2018年度のミスおたるに選ばれ、小樽市の観光PR活動で活躍しています。今回は、ミスおたるとしての活動や学生生活についてお話を伺いました。

大学生活を通じて変わることができた自分の集大成！

——ミスおたるにチャレンジしたきっかけ
私はこの小樽が大好きです。しかし最近、人口が減少してきていて、活気もなくなりつつあります。その中で、何か貢献できないかなと思ったのがきっかけの一つです。

また、大学2年から始めた学内の演劇研究会での活動もきっかけの一つです。中学では家庭科部、高校でも地学部どちらかというと地味な方の部活で活動していました。元々は人前で話をしたり何かすることはとても苦手だったのですが、どこかで「変わりたい！」という思いを持っていました。演劇に取り組んでいくうち、人前で何かに取り組むことへの苦手さが随分と克服されました。そして、大学生活を通じて変わることがで



きた自分の集大成として、ミスおたるをやってみたいという思いもありました。

——ミスおたるとしての活動

7月に小樽市で行われる、おたる潮まつりでの活動が印象的です。約10キロ踊りながら歩く“潮練り込み”というイベントがあり、体力的には大変だったので、沿道の方々の声援や演劇活動を通じて身についた「誰かが喜んでくれるために頑張りたい！」という思いが支えてくれました。今後、東北や九州にも広報で出かける予定があり、とても楽しみです。

——学生生活を振り返って

人生の中で一番挑戦した期間だと思います。それまでは恥ずかしい、傷つきたくないという思いが強かったのですが、一步踏み出して色々なことに挑戦してみると、案外何とかなるものだなど感じています。私は自分がやりたいことを記す夢ノートを作っているのですが、このPassagesに掲載してもらうことも夢の1つとして記していたんです。今回、こうして願いの一つを叶えることができてとても嬉しく思っています。これからも人に影響を与えられるようになるために、チャレンジ精神を忘れずに頑張っていきたいと思います。



トビタテ！留学JAPAN

伊藤 昇さん（経営学科2年生）

出身高校：北海

所属ゼミ：菅原秀幸ゼミ

入学年度：2017年度

文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN」第9期生に選ばれて、現在、海外で活躍しています。「世界基準のコーチング、マネジメント力を身に着けて北海道テニス界の国際化に役立てる」をテーマに、10月13日からオーストラリア、アメリカ、オランダの三ヶ国に飛び立っています。

——なぜトビタテ！留学JAPANに応募されたのですか？

私は小学校3年生の頃からテニスをはじめ、今までテニスしかやってきていませんでした。選手として北海道で活躍していましたが、全国では高い壁があり、なかなか勝つことができずに終りました。そこで選手としてではなく、違う形でテニスに関わりたいと思いました。北海道テニス界には可能性を秘めた子がたくさんいます。しかし、上手い子は高校生になるタイミングで道外（関東や関西地方など）に出てしまいます。また、テニスだけで見ると、関東と北海道を比べると、北海道は劣ってる部分が多いです。たとえば、選手の数、大会数、コミュニティの数などです。

北海道は観光地として有名で、特に冬はスノースポーツで観光客を呼び寄せています。そこで私は夏をテニスの北海道に変えたいと思いました。今は国際大会を夏に北海道で開催し、そこで同時に夏の北海道も味わって欲しいと考えました。そのノウハウを学ぶため、今回、トビタテ！留学JAPANに応募しました。

——留学先では何をされるのですか？

留学先では、語学力はもちろん世界トップクラスのアカデミーでジュニア育成のコーチング技術や国際大会の運営マネジメントを学びます。また、国際スポーツビジネスのノウハウを身につ



け、北海道テニス界から世界に飛び立つ選手の育成を目指す！

北海道テニス界から世界に飛び立つ選手の育成を目指し、国際化に役立つ人間になるのが目標です。まず、オーストラリアに4ヶ月滞在し英語を学びながら、現地のアカデミーを訪問したり、大会運営の仕方などを学びます。そして、アメリカでは世界トップのIMGなどのテニスアカデミーで、ジュニア育成の方法論を学びます。最後に、オランダでは自らがコーチとなって指導することで、ノウハウを実践し、世界選手となり得るジュニア指導をする実体験を積みます。将来的には、留学で得たネットワークを生かして世界大会を北海道で開催し、観光事業に貢献することを目指しています。



北海道テニス界から世界に飛び立つ選手の育成を目指す！

Asia Beatbox Championship 2018 Tag部門優勝!

田村 風雅さん（経営学科4年生）

出身高校：札幌白石
所属ゼミ：伊藤ゼミ
入学年度：2015年度

ヒューマンビートボックスのコンテストである、Asia Beatbox Championship 2018 Tag部門で見事優勝しました。田村君とヒューマンビートボックスのかかわりについてお話を伺いました。



大好きな“ヒューマンビートボックス”を価値のあるものに！

——ヒューマンビートボックスとはそもそも何ですか？またその面白さは何ですか？

人間の口から出る音だけで音楽を作り上げる表現方法です。ヒップホップの文化を背景として、お金のない人たちが楽器のマネをすることから始まりました。言葉を必要としない音楽なので、国際大会に参加した時、ビートボックスが好きという共通点だけで外国の方と仲良くなれます。このビートボックスの関わりだけで海外に100人くらい友達がいます。

——今後の目標は？

有名人になりたいです！そのため、タッグチームアシアチャンピオンとして出場権がある2020年のドイツ世界大会で世界一を目指しています。のために、相方と練習しています。他にも、ヒューマンビートボックスバトルも日本で有名にしたいと考えています。北海道でのバトルイベントの主催も続けていきながら、大好きな“ヒューマンビートボックス”を価値のあるものにするべく活動していきます！



——これまでの活動で苦労したことは？

1つはビートボックスでお金を生み出す苦労です。ライブ活動を始めた当初は、お客様を呼べなかった場合、自分がお金を払うというノルマ制度でした。苦労しながら地道にライブを続け、出演

■田村君が所属しているチーム4thGASのチャンネル(Youtube)
<https://www.youtube.com/channel/UCNq0ecjano5XQK6Y8BqxBFw>



経営学部 CSP

キャリア・サポート・プログラム

CSPは経営学部独自のキャリア育成プログラムです。
みなさんの就職活動の支援はもちろん、卒業後も自らの力で
進路を切り開いて行くことのできる能力を育成することを目的としています。
単なる就活対策ではなく、生涯にわたるキャリア(職業人生)全体を
長い目で見て考えることのできる自律性の育成に重点を置いた教育プログラムです。



キャリアデザイン講座の概念



越湖 健太

所属ゼミ：佐藤芳ゼミ
出身高校：旭川南
入学年度：2016年度

学生企画イベントの趣旨(総括)

当企画は「経営学部での学びが将来必ず役に立つ」ことを実感してもらうために行いました。私たちはCSP独自のプログラムであるビジネスモデル分析や企業研修A・Bを通して、経営学部での学びが、社会人になったときに必ず応用できることを学びました。したがって、2年生にもこのことに早く気づき、経営学部での学びをより有意義なものにしてもらいたいと考えました。なお、今回は企画をより実践的なものとするために、西山製麺(株)様、(株)サンドラッグプラス様、ジョブカフェ北海道様の後援を頂きました。社会人の皆さんからフィードバックをいただくことで、学生と社会人とのギャップに気づいてもらえたのではないかと思います。



【キャリアデザイン講座】学生イベント後援企業・団体紹介

西山製麺株式会社

株式会社サンドラッグプラス

ジョブカフェ北海道



<https://www.ramen.jp>



<http://www.sundrug.co.jp>



<http://www.jobcafe-h.jp>



学生企画を担当した3年生12名

2018年度キャリアデザイン講座では、下記の企業からもご講演いただきました。

株式会社マイナビ

<https://www.mynavi.jp>

株式会社AIRDO

<https://www.airdo.jp>

ジョブカフェ北海道

<http://www.jobcafe-h.jp>

株式会社

北海道アルバイト情報社 <https://www.haj.co.jp>



写真上：(株)AIRDO様による講義

写真左：(株)北海道アルバイト情報社様による講義

写真右：(株)マイナビ様による講義

詳しくはFacebook公式ページをご覧ください。

「経営学部CSP」公式 Facebook
<https://www.facebook.com/hgubacsp>



※CSPは1部のみに設置のプログラムです。



学生企画イベント2018 in キャリアデザイン講座 企画・運営学生による内容紹介



石澤 美海

所属ゼミ：伊藤ゼミ
出身高校：札幌啓成
入学年度：2016年度

企画段階について

私たち12名は、7月から約4ヶ月間に渡り1から学生企画の準備・運営を行ってきました。まず3チームに分かれて企画案のコンペを行い、そこからみんなで内容を決定し、当日の時間配分などを深掘りしていきました。私は議論の際の書記を担当しましたが、次の2点を意識しました。1つ目は、誰が見てもわかりやすくまとめることです。具体的には“なぜその意見なのか”を記すことで1つ1つに根拠を付けて結論を出すことができました。2つ目は客観的な視点から意見を発信することです。視野を広く持ち、議論を正しい方向へ導くことができました。陰ながらでも書記という役割の大切さを学ぶと同時に意見をまとめることの難しさも実感しました。



東浦 小春

所属ゼミ：伊藤ゼミ
出身高校：北海
入学年度：2016年度

グループワークについて

2年生には最初に企業の担当者様の説明を聴いたのちに、それぞれの企業向けに新商品・サービスを考えもらいました。これまでの2年間で学んできた経営学をどう活用すればよいのか、答えとなるアドバイスはせずにグループワークを実施しました。そこには情報収集から分析、考案という流れを実感してほしいという狙いがありました。3分間という短い時間とA4用紙1枚という厳しい条件でプレゼンをしてもらい、企業様から厳しいフィードバックをしていただくことで社会人と学生のギャップを感じもらいました。1回目のグループワークとプレゼンでは失敗経験をしてもらい、2回目に向けてどのように改善するか考えてもらうのも目的でした。



渡邊 龍生

所属ゼミ：伊藤ゼミ
出身高校：石狩南
入学年度：2016年度

経営学部の学びの大切さと自分を変えるきっかけを「伝える」プレゼン

私たちは初日に新商品企画のルール説明と2年生の動機づけを目的にプレゼンを行いました。どんな内容であれば興味を持って聞いてもらえるか、どんな説明であればやる気を出して参加してもらえるかを考えプレゼンを作成しました。また、2年生に「伝えること」を第一に客観的な視点を常に意識しました。

知識をインプットするだけではなく活用できるようにアウトプットすることは非常に大切だと思います。それは経営学に限らず、日常の様々なことに対して応用できるからです。今回の経験から2年生には普段からアウトプットを意識して、学習の質をより向上させてもらいたいと思います。



最終プレゼンに選出された2年生3グループ



篠田 稲介
草部 唯香
大内 美穂
小野 亮
中村 郁美
齋藤 有沙



山本 菜央
栗屋 允
徳本 紗雪
吉田 歩未
佐藤 悅平
中山 美桜子



栗林 広太郎
南 貴明
八木田 茉由
山口 雅史
武林 彩佳
宮部 まだか

日本とカナダの企業分析を題材として、英語力の育成だけでなく、経営学の専門知識の涵養、実務的なコミュニケーション能力の習得を目指したプログラムです。具体的には、①世界中の学生が集まる語学研修に参加し、多様な英語に触れる、②企業の比較分析をして、海外の企业文化に出会う、③企業の現場に足を運び、現地企業スタッフの前でプレゼンし、意見交換することで、実際に英語を使う経験をすることを行っていきます。



▶プログラムの体系

海外総合実習は、第1学期の事前学習、夏休み中の実地研修、第2学期の事後学習の3つに分かれます。

事前学習(4月から7月) … 実地研修での成果を向上させるための事前準備のフェーズ

1. 業界分析、企業分析とレポート作成(日本語)
2. レポートに基づいたプレゼンテーションの準備(英語)
3. 英語リスニング、スピーキング、ライティングのトレーニング

実地研修(9月上旬から3週間) … ブロック大学(カナダ国オンタリオ州セント・キャサリンズ市)

事後学習(10月から11月) … 実地研修の成果を確認し、次の目標に向か意識を高めるフェーズ

1. グループワークを通じた実地研修の成果の振り返り
2. プrezentationやレポート作成による成果の確認



研修地：オンタリオ州セント・キャサリンズ市

セントキャサリンズ市はカナダ東部に位置し、トロントからバスで約1時間半、ナイアガラの滝からは約20分の場所にあります。ワイナリーが豊富で、周辺の主要産業のひとつになっています。滞在する9月の平均気温は約20度前後。治安は極めて良好です。



海外総合実習担当教員(2018年度)
〔写真〕左：内藤永(英語) 右：増地あゆみ(心理学)
松根マーク(事前・事後指導担当)

■事前学習スケジュール(2018年度)

4月	・オリエンテーション、英語課題開始
5月	・カナダの地理、文化、産業 ・企業分析および業界分析の方法 ・企業レポート作成 ・スライド作成
6月	・業界分析 ・企業分析
7月	・企業訪問(2回) ・企業レポート仕上げ ・プレゼンテーション準備 ・カナダ企業の研究 ・異文化コミュニケーションワークショップ ・他に旅行会社主催のオリエンテーション
8月	・結団式

「ここでしか得られない貴重な経験」



片柳 優心

所属ゼミ：増地ゼミ
出身高校：留萌
入学年度：2017年度

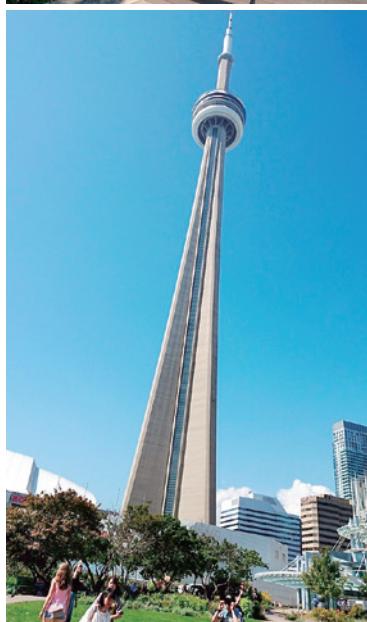
海外総合実習を通して、私は英語力だけでなく、人の温かさや異文化について知ることができました。特にホストファミリーとの時間が私の一番の思い出です。はじめは現地の早い英語を聞き取ることで精いっぱいでしたが、何度も会話を重ねることで現地の英語に慣れ、ホストファミリーと楽しく話すことができました。また、現地のビジネスパーソンの前でプレゼンを行ったり、企業訪問をしたりと通常の語学留学ではできない、とても貴重な経験を得ることができました。このプログラムでは、先生のサポートを受けながら信頼する仲間と一緒に留学できるので、まだ海外へ行ったことがない人でも安心です。ぜひ参加してみてください！



ブロック大学

応用健康科学部、経営学部、教育学部、人文学部、数学科学部、社会科学部の6つの学部と大学院からなる州立の総合大学です。学生数は約18,000人。カナダだけでなく、様々な国の留学生も数多く在籍しています。海外総合実習を履修する学生は主にESL (English as a Second Language) プログラムに参加しますが、メインキャンパスの図書館等各種施設の利用、課外プログラムの一部参加などが可能です。

実地研修のスケジュール(2018年度)



Sep.02	新千歳空港出発。羽田空港経由で日本を出国し、カナダ到着 [ホストファミリーと対面、それぞれの自宅へ]
Sep.03	祝日(Labor Day)
Sep.04	● ESLオリエンテーション、キャンパスツアー、クラス分けテスト
Sep.05	ESLオリエンテーション(つづき)
Sep.06	ESL授業開始(午前8時から午後4時まで)
Sep.07	ESL授業
Sep.08	ナイアガラの滝観光 ●
Sep.09	休日
Sep.10	午前：ESL授業 午後：英語プレゼンテーションのリハーサルをESLスタッフの前で行い、質を上げるためのアドバイスをもらった
Sep.11	ESL授業 ● 夕方：運河博物館(Welland Canal Museum) 見学
Sep.12	ESL授業 夕方：Conversation Café (ブロック大学学生との交流)
Sep.13	午前：ESL授業 午後：Chocolate FX訪問[施設見学、英語での● プrezentation、スタッフとの情報交換]
Sep.14	ESL授業 午後：ブロック大学教授による階層分析法についてのビジネスレクチャー
Sep.15	トロントへの日帰り観光
Sep.16	休日(ブロック大学サッカーチームの試合観戦)
Sep.17	ESL授業 夕方：ブロック大学内でOutlet Mallの方に英語での● プrezentationと情報交換
Sep.18	ESL授業 午後：アウトレットモール訪問
Sep.19	ESL授業 夕方：Conversation Café (ブロック大学学生との交流)
Sep.20	ESL授業 夕方：Farewell Dinner (講師・スタッフを招いての夕食会)
Sep.21	午前：ワイナリーツアー 午後：Annual Brock University Grape Stomp (ブドウの収穫祭に因んだイベント)に参加し、● 全員ぶどうまみれに。
Sep.22	ESL校舎にてホストファミリーと涙のお別れ。 トロント空港よりカナダ出国
Sep.23	日本帰国。 羽田空港経由で新千歳空港到着



実践する 学び

産学連携事業

社長に弟子入りプロジェクト

経営学部では、2015年に北海道中小企業家同友会と協定を結び、
産学連携事業として「社長に弟子入りプロジェクト」を実施しています。

具体的には、夏休みを利用して、学生が社長に2日間帯同し、
社内外の打ち合わせ、新規事業の現場への立会い、銀行回りなどを経験します。
2018年度は、19名の学生が、14社の社長に弟子入りしました。

受け入れ企業一覧(全15社)

	企業名	氏名	弟子	業種
1	(株)アセットプランニング	代表取締役 及川 学	徳本 紗雪	総合不動産業
2	(株)井上技研	代表取締役 犬嶋 清幸／専務取締役 犬嶋 ユカリ	天間 陽向	総合工事業
3	(株)内池建設	代表取締役 内池 秀敏	古賀 悠祐／中野 峰之	建設業
4	(株)エース	代表取締役社長 中野 政嗣／総務部長 追鳥 良一	後藤 佑奈／佐々木 文香	運送業
5	(株)恒栄工業	代表取締役 上原 伸也	高本 寛也／中野 峰之	設備工事業
6	サンマルコ食品(株)	取締役管理本部長 佐藤 信弥	小川 文子／佐々木 まいこ／田口 沙耶／藤木 崇仁	食料品製造業
7	職人工房(株)	代表取締役 一関 倭	小川 文子	製造小売業
8	(株)白石製作所	代表取締役社長 吉田 元海	金澤 侑美／大門 航己	食品関連機器製造業
9	(株)ティーピーパック	代表取締役 池川 和人	小野 圭亮／佐野 有希／田丸 瑞樹	包装資材企画・販売業
10	(株)テックサプライ	代表取締役 幡 優子	山本 真歩	サービス業
11	(株)ハイテックシステム	専務取締役 酒井 裕司	大石 菜々子	電気機械器具製造業
12	(株)平塚建具製作所	代表取締役 平塚 勝也／業務課 飯田 麻葉／木戸 春希	栗原 安伸／佐々木 文香／本間 航史	鋼製建具製造業
13	(株)ヤブシタ	管理部 佐藤 奈緒子	加藤 淳大	空調機器製造・販売
14	(株)レイジックス	代表取締役 敬禮 匡	石岡 沙倉／小川 文子／古賀 悠祐	飲食業
15	ワコオ工業(株)	代表取締役社長 和田 一仁	石岡 沙倉	設備工事業

※(株)ティーピーパックは胆振東部地震のため開催を中止しました。

社長に弟子入りを終えて

弟子入り先

(株)内池建設、(株)レイジックス



古賀 悠祐さん

出身高校：札幌国際情報
入学年度：2017年度

私は、内池建設(株)
の内池社長、レイジックス(株)の敬禮社長のお
二方に弟子入りしました。今回、私が弟子入りにあたり心掛けたことは、
社長の弟子という立場としての振る舞いです。経
営者・従業員の方への挨拶、言葉遣いはもちろんのことですが、自分から周りに気をかけて行動する
ことを意識しました。

内池社長への弟子入りでは、主に様々な経営者
の方のもとへ訪問し、質問する機会をいただきました。普段、学生としてではなかなか会えない方と
直にお話を聞き質問することで、実体験として大
変貴重な経験をさせていただきました。

敬禮社長への弟子入りでは、震災の影響を受け
た観光飲食業の経営の実態をリアルな場面まで
ぞかせていただきました。今後とも、一時的な関係
ではなく、弟子として長期的な関係を築きたいと思
います。

弟子入り先

(株)テックサプライ

このプロジェクトでは、優子社長のもとで弟
子として、営業先の外回りの同行や、社長のお
仕事のお手伝い、会社恒例のお蕎麦打ちなど貴
重な経験を沢山させていただきました。社長か
ら2日間密着する中で学んだことは、挑戦するこ
との大きさでした。社長の起業した勇気とリス
クを恐れずに挑戦して成功を収めたというお話
が一番印象に残っています。私は、チャンスに
リスクを見出し、いつも挑戦することを恐れて
ばかりいました。しかし、社長に出会い、社長
の挑戦する姿と、社長を尊敬していく社員の姿
を見て、私もいつまでも失敗を恐れてい
ないで、やりたいことをなんでも挑戦していき
たいと思いました。この弟子入りプロジェクト



に参加したこと、自
分が少し強くなりま
した。本当に参加して良
かったです。

山本 真歩さん
所属ゼミ：大平ゼミ
出身高校：北海学園札幌
入学年度：2017年度

弟子入り先

(株)アセットプランニング



徳本 紗雪さん

所属ゼミ：近藤ゼミ
出身高校：札幌手稻
入学年度：2017年度

このプロジェクトは、
本当に名前の通り2日
間びっしり社長に同行
します。それぞれの部署のミーティングに参加さ
せていただいたり、取引先の企業や銀行へ同行し
実際に名刺交換をさせていただいたりと、とても
充実した貴重な経験をさせていただきました。

何をするにも常に先を見越すことの重要性や、
物事を一步引いた視点から見ることの大切さなど、仕事だけに当たるまらない、生きていくうえで
人間として大切なことを社長や社員の皆様から学
ばせていただきました。

「社長」という存在をこんなに間近で見て学ば
せていただける体験はそうそうないと思います。
自分の将来についてしっかり考えたいけど何をし
たらいいのか分からないという人は特に参加をお
勧めします！良いきっかけになること間違いなし
です！

教員の研究紹介

[科研費助成を受けている研究]

科研費

KAKENHI

大学教員は、講義だけでなく、自身の研究を行っています。こうした研究活動によって、新しい理論・知見が発見され、これらの理論・知見を踏まえた講義が展開されることになります。また、研究とは、“学問をする”ということでもあるので、研究活動それ自体が学生に対して学問に臨む姿勢を伝えることになります。

今号では、経営学部教員の研究の中でも、外部資金である科研費助成を受けている
関谷先生の研究を紹介します。

科研費（科学研究費）は、人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、専門分野の近い複数の研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

平均
25.3%

申請をした研究テーマが、全て採択されるわけではありません。毎年多くの研究者が科研費助成の申請を行いますが、その採択率は平均25.3%（過去11年の平均）となっています。

基盤研究(A・B・C)	一人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (期間3~5年間、応募総額によりA・B・Cに区分) (A)2,000万円以上5,000万円以下 (B)500万円以上2,000万円以下 (C)500万円以下
挑戦的研究(開拓・萌芽)	一人又は複数の研究者が組織する研究計画であって、斬新な発想に基づき、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究計画 なお、(萌芽)については、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究計画も対象とする (開拓)期間3~6年間、500万円以上 2,000万円以下 (萌芽)期間2~3年間、500万円以下
若手研究(A・B)	若手研究者（研究開始年度の4月1日現在において39歳以下）が一人で行う研究 (期間2~4年間、応募総額によりA・Bに区分) (A)500万円以上3,000万円以下 (B)500万円以下 ※2018年度より、若手研究(A)を基盤研究に統合し、若手研究(A)の公募は停止。それに伴い、若手研究(B)の名称を「若手研究」に変更。

総額9,821万円を獲得

経営学部開設以来、30件の研究課題で、経営学部教員が研究代表者となって総額9,821万円の助成を受けています。

研究課題の内容や研究期間の長さによって、助成される金額も変わるので、一概には言えませんが、1課題あたり平均327万円（基盤C：352万円、若手B：321万円）が、一研究年に対して平均114万円が助成されています。

また、他大学の教員が代表者となっている研究課題に、研究分担者として参画している場合もあります。



サービス業におけるイノベーションの創出が組織業績に与える影響の理論的・実証的研究



関谷 浩行 準教授
 ●課題番号: 16K17210
 ●種別: 若手B
 ●期間: 3年
 ●主たる担当科目
 管理会計／マネジメント・コントロール

■研究の背景

イノベーションと管理会計に関する研究を括的にレビューしたDavilaによると、どのような条件でインラクティブ・コントロール・システムがイノベーションを促進するかについて、実証的な研究がすすんでいます。しかし、従来の研究では、①Simonsの4つのコントロール・

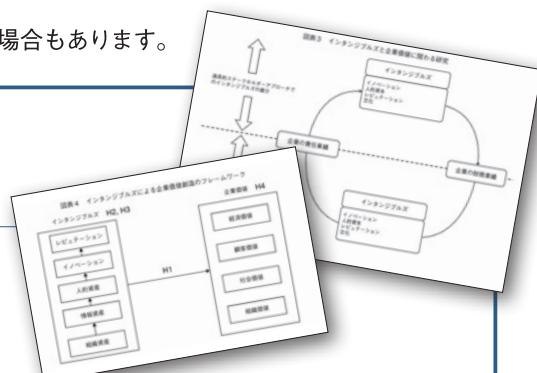
象が製造業に限定されているなど、経験的証拠に基づく検討が十分に行われていないという残された課題があります。

本研究は、私がこれまで取り組んできた企業の評判（corporate reputation）などのインターンシップに関する研究成果をもとに、サービス業（医療機関など）を対象としてマネジメント・コントロール・システムの視点から企業の価値創造に資するイノベーション・プロセス（イノベーションがどのように進むのか）の可視化および組織業績との関係性について明らかにしようとしています。

■今までの検討結果の概要

現時点までに(1)イノベーションが組織業績に影響を与える要因分析、(2)サービス業を対象にしたインタビューを実施しています。各概要については以下のとおりです。

(1)イノベーションが組織業績に影響を与える要因分析：昨年度に立てた仮説をより強固なものにするため、別の条件下での状況を調べるという目的で、イノベーションが組織業績に影響を与える要因に関する先行研究を整理しまし



た。サービス業の具体的な対象については、医療機関を中心としながら、日本標準産業分類をもとにさまざまなサービス業に関する先行研究をフォローしました。

(2)インタビュー調査：サービス業に対するインタビュー調査を行うことによって、これまでの分析結果が現実に即したものであるか、また分析における漏れを異なる方法によって確認すること狙いとして調査を続けております。

これらの成果は、「インターンシップによる企業価値への影響」『専修商学論集』2017年、105号、pp.19-24（共著）、「病院管理会計」『ケース管理会計』中央経済社、2017年、pp.260-270（共著）などがあります。この他、科研費に関する研究テーマではありませんが、管理会計の視点から統合報告も研究しており、『戦略的管理会計と統合報告』同文館出版、2018年、（共訳書）というタイトルの翻訳書も出版しました。ご一読ください。



Information

ゼミ活動・地域連携

広尾町×経営学部佐藤大輔ゼミ ～クリスマスの物語～



経営学部の佐藤大輔ゼミナー（経営管理）が、11月3日にサッポロファクトリーで開催されたクリスマスツリー点灯式に参加し、「サンタランド」イベントを実施しました。

佐藤ゼミでは、2016年度から北海道十勝管内広尾町と連携して、地域活性化プロジェクトに取り組んでいます。

広尾町はノルウェー本国より正式に認められたサンタランド（サンタクロースの聖地）であり、1980年代より関連事業も展開していますが、近年それらの取り組みも下火になりつつあります。ゼミでは、地域での聞き取り調査や各種データの分析から、新たな市場を構築するための取り組みを展開することとしました。

その目玉が「サンタランド」イベントです。イベントでは広尾町から寄贈されたクリスマスツリーを俯瞰できるアトリウムの一角にブースを構え、紙芝居による子ども向けコンテンツの他、地元広尾高校の皆さんによる物販なども実施しました。



表紙



アカデミックリテラシー5月講義



(2年次)学生企画での表彰グランプリ※詳細は9~10ページ



活躍する経営学部生…ミスおたる(左)/トビタテ!留学JAPAN(中)/Asia Beatbox Championship 2018 Tag部門優勝!(右)



海外総合実習[カナダ]
プドウの収穫祭

特別講演 国税局講演会



マネジメント・コントロール（関谷浩行准教授）の講義内において、札幌国税局課税第一部長の本多康昭様をお招きし、経営学部3・4年生を対象に講演会を開催しました。

テーマは「コーポレート・ガバナンスとは何か：企業行動と税」で、アクティブラーニング形式のご講演をいただきました。

資格取得

公認会計士試験

本年度公認会計士試験において経営学部の卒業生2名が最終合格しました。なお2018年度における公認会計士の最終合格率は11.1%でした。

鎧塚 友也さん

- 所属ゼミ：庄司ゼミ
- 出身高校：帯広緑陽
- 入学年度：2014年度

米谷 昇太郎さん

- 所属ゼミ：高木ゼミ
- 出身高校：札幌啓成
- 入学年度：2012年度

特別講演 HBC×HGU 経営統計学

2018年9月17日に北海学園大学は、北海道放送株式会社（以下、HBC）と包括連携協定を締結しました（協定発効日は2018年10月1日）。本協定に基づく活動の一環として、「若者のメディア利用に関するアンケート調査」の実施を「経営統計学概論II」で行いました。この科目では調査実施に加えて、HBC編成局メディア戦略部の山岡英二様、油谷弘洋様によるご講演、グループワークとして同アンケート結果からメディアについての考察も行いました。この講演・グループワークを通じて、学生達にはTV・ラジオをはじめとするSNSを含めたメディアについて理解を深めると共に、地方TV局の社会的責任、広報戦略といった経営について考える機会になりました。あわせて、データという根拠から客観的に考察するというアカデミック・スキルの意義についても学びました。



▶バックナンバー
<http://ba.hgu.jp/passages/>

